

海水浴を楽しむ方へ

楽しい海水浴！！

しかし、海水浴場はプールと違って、急に足がとどかなくなったり、波や流れに巻き込まれたりして、油断すると溺れるなどの事故につながります。楽しい海水浴にするために次の4点を心がけてください。

● 遊泳禁止場所では泳がない

遊泳禁止区域は、いざという時に助けてくれる監視員がいません。海水浴は安全で監視委員がいる「海水浴場」で泳ぎましょう。

● 遊泳禁止発令時は泳がない

「海水浴場」では風や波が強い時は、危険なために遊泳禁止発令（赤旗）が出されます。発令時には泳ぐことはやめましょう。このようなときに「海水浴場以外」で泳ぐことは監視員がいないので更に危険です。絶対にやめましょう。

● 海水浴場の開設期間に泳ごう

開設期間外の海水浴場には監視員がいません。残暑が続く夏は、開設期間と監視員の存在を確認して泳ぎましょう。

● 飲酒したら泳がない

飲酒により危険に対する注意力が鈍くなることによる事故多く、生死にかかわる事故が後を絶えません。飲んだら泳ぐな！泳ぐなら飲むな！を徹底してください。

● 海の恐さを知ろう

遊泳が許可されている海水浴場でも、離岸流が発生します。このような情報は監視員がよく知っています。事前に、監視員から情報を得ることで事故を回避できる可能性が高くなります。

● 無理をしない

泳力を過信する等無理をせず、少しでも体調不良や危険を感じたら泳がないようにしましょう。